まちの話題

マリンタウンでウォーキング＆クイズに挑戦 ～あがりティーダウォーキング ウォークイズ大会～

クイズを解きながらウォーキングを楽しみ、健康づくりを図るイベント「あがりティーダウォークイズ大会」が、3月10日に東崎公園で開催されました。このイベントは、町民の健康づくりの一環として毎月第2日曜日などに実施している「あがりティーダウォーキング」が、開始から5年を迎えたのを記念して行われたものです。当日は天気にも恵まれ、約230名が参加しました。

参加者はストレッチで体をほぐした後、3kmと6kmコースに分かれ、海風に吹かれながら思い思いのペースで海岸沿いのルートを歩きました。5か所に設置されたクイズのポイントでは健康関連や西原にまつわるクイズに挑みました。

地域の福祉力を高めよう！ ―第16回西原町社会福祉大会―

町内の地域福祉関係者が一堂に会し、誰もが安心して暮らせるよう地域の福祉力を高めることを目的に、第16回西原町社会福祉大会が、2月26日に町中央公民館で開催されました。

大会には町内の福祉団体や施設などから160名が参加。参加者に対し、新川善昭大会長（町社会福祉協議会会長）が「多様な福祉ニーズ、生活課題が浮き彫りになる中、町民、行政、福祉関係者が連携を深め、誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる社会の実現に努めよう。」とあいさつしました。

また、社会福祉の発展に貢献したとして、35名の個人と13団体、11事業所を表彰。受賞者を代表して調理ボランティアとして平成11年から活動している根路銘久子さんが「少しでも人の役に立っているという誇り、充実感を持っている。健康でいられる限り、これからもがんばっていきたい。」と喜びを語りました。

学び、楽しもう！西原町生涯学習フェスティバルを開催

町民一人ひとりの生涯学習への意欲を高め、広く生涯学習の普及啓発を図ることを目的に、第4回西原町生涯学習フェスティバルが、3月2日と3日の2日間、町中央公民館などを会場に開催されました。

町中央公民館では舞台発表が披露され、子どもからお年寄りまでさまざまな世代のサークル・団体がダンス、歌、舞踊や楽器など、普段の活動の成果を発表しました。また、展示の部では各種団体の活動報告や、手芸、生け花、絵画などの作品が展示され、多くの来場者の目を楽しませませました。

また、町立図書館では本の無料配布やアニメの上映会、町民体育館ではパークゴルフ場とトレーニング室が無料開放されました。

西原町が体力つくり国民会議議長賞を受賞しました

西原町が、文部科学省などによる体力つくり国民会議議長賞を受賞し、2月22日に県庁で伝達表彰を受けました。「町民減量革命」をスローガンに、あがりティーダウォーキングや、食生活改善推進員と連携した子どもや男性対象の食生活講座を開催してきたこと、平成17年に「バレーボールのまち西原」を宣言し、各種バレーボール大会を開催するとともにその他のスポーツを推進していること等が評価されました。

小波津自治会で、ジャガイモ品評会を開催

生産したジャガイモの大きさや重さを競い合い、農産物生産の意欲の高揚を図ることなどを目的に、小波津自治会が主催する「第6回ジャガイモスープ」が、2月11日に開催されました。

「ジャガイモスープ」には33農家が出品。小波津祐光さんが1個の部、10個の部の2部門とも優勝しました。また、採れたてのジャガイモを使って、ジャガイモ料理がふるまわれました。

「トートーメー」の歴史を学び、これからのトートーメー継承を考える ～西原町男女共同参画講座～

男女共同参画社会の推進を目指して「平成24年度男女共同参画講座」が、3月5日に町立図書館で開催されました。今回の講座は「トートーメー」の歴史を学び、これからのトートーメー継承について考える企画で、講師に沖縄女性史家の宮城晴美さん（写真）を招きました。

"娘に継がせてはいけない"などのタブーがつきまとうトートーメー問題に対し、宮城さんはその歴史などを説明。「姉妹だけでお墓を作ったり、女性が継承した事例もある。生活環境やライフスタイルが変化してきており、しがらみにとらわれず、家族や親族で話し合っていい方法を考えればいい。」と参加者にアドバイスしました。

文化と芸術の祭典、西原町文化祭が盛大に開催

町民の芸術文化活動への意識の高揚、文化の創造・発展と、会員活動の活性化を目的に、第12回西原町文化祭（町文化協会主催）が開催されました。「継承・創造・躍進」をテーマに掲げ、展示部門が2月8日から10日の間、舞台部門が2月16日と17日に行われ、17部会、約500名の会員が日ごろの成果を披露しました。

展示部門の開会セレモニーで、町文化協会の新川善一郎会長は「会員一丸となって、日ごろの研鑽を重ねた成果を発表するために取り組んできた。多くの方に見てほしい。」と開催への思いを述べました。

町民体育館で行われた展示部門では、書道や写真、工芸品など約140点の作品が並び、多くの来場者が一つひとつの作品を観覧しました。また、茶道部会による呈茶席が設けられ、茶道の手法を学びながらお茶をたしなむ姿が見られました。

町中央公民館で行われた舞台部門では、琉球舞踊や民謡などの古典芸能や、普段見る機会の少ない詩吟や洋楽などが披露され、多くの方が各部会の演目を堪能しました。